
フクシマ

2019・7・13

■実行委員会共同代表

牛山 積／小池信太郎／寺下章夫

現地調査

事務局だより

事務局・大越宏樹

フクシマ実行委員会（7月29日午前）

「勉強会」のテーマ・講師が決まる！

—「救済・復興の共同声明」について磯野弥生さん

先にご案内しましたようにフクシマ現地調査実行委員会を7月29日（10:00～スモン公害センター）に開き、今秋の第8回フクシマ現地調査の企画案（開催時期及び調査ポイントなど）を検討します。その際の恒例となっている兼「勉強会」のテーマ・講師が決まりましたのでお知らせ致します。

- テーマ 福島原発事故の被害救済と復興に関する「共同声明」について
- 講師 磯野弥生さん（東京経済大学名誉教授／行政法学）

★今年5月に「福島原発事故の被害救済と復興を検証する会」が発足。池内了（物理学）鈴木達治郎（原子力工学）高橋哲哉（哲学）など著名な学者・研究者14名。寺西俊一（一橋大名誉教授）磯野弥生（東経大名誉教授）が幹事役。大島堅一・除本理史が事務局担当。6月に「福島原発被災から9年目。被害救済と事故処理の責任を明確にし、信頼回復に向けた真摯な対応を！」の「共同声明」（第一次）を公表しました。—9年目の現実を直視するかぎり、新たな課題が次々と起こっており、事態は根本的な解決に向かうどころか、より深刻な様相を呈しつつある。強い懸念を抱き、「検証する会」を発足させ、「共同声明」を発表する。——と指摘しています。いま、各々の団体が「共同声明」を学び、賛同を広げる活動に取り組んでいます。

□7月26日に有明海訴訟「最高裁弁論」一院内集会開く！

潮受堤防締切り（ギロチン）から22年。2010年12月の福岡高裁「開門確定判決」が履行されず、逆に非開門判決も確定。対立する二つの確定判決のもとで注目される最高裁の「口頭弁論」⇒17：00からの「院内集会」（衆院第一議員会館）にご参加ください！

■「原発と人権」ネット一来春の「第5回集会」準備始める

8月5日に会議を開き、来春の「第5回集会」の開催企画が検討されます。実行委員会は、同集会とセットでの「第9回現地調査」についても検討をおこないます。